

3月議会報告一般質問より

1 角鹿中学校区小中一貫校設立に向けての状況

毎回の取り上げている質問です。それというのも理事者からの明確な言葉が出てこないからです。今回は、3点に絞って質問しました。私に与えられた発言時間は30分(理事者からの答弁時間は含みません。この質問形式を「一問一答方式」と言います。)ですから、当然、質問時間を想定して臨んでいます。今回は、確認だけで、再質問の必要も無いものと考えてましたが、釈然としない結果であったと言わざるを得ません。

1つ目の質問は、「小中一貫校を設置する」という明確な方向性を確認するためのものでした。

【質問①】これまでの統合検討委員会での検討を通して、施設形体は別にして、現在の角鹿中学校敷地内に小中一貫校を設立するということは間違いないのか。

⇒現在統合検討委員会より、3月末に答申をいただくことになっている。その後市長部局とも協議をし、議会への説明をして、設立について示していく。順番がずれているとは思っていない。

残念ながら、返ってきたのは、これまでと同様に、「角鹿中学校区統合検討委員会の答申を受けて決定する。」というものでした。何故、「今は、検討委員会の答申がなされるのを待っている段階だから、詳細な内容は答弁できないが、当然その方向で進めている。」との答弁がいただけないのでしょうか。大変不思議です。というのも、平成28年8月に示され、今回冊子にまとめられた**第6次敦賀市総合計画**の内容では、「**角鹿中学校を中心とする小中一貫校を設立し、モデル校として、市の教育を推進する**」とし、「**事業実施**」と明確に示されているのです。にも拘わらず、その方向性を明言できないのは何故なのでしょう。市民を惑わせる不整合感と手順に疑問が残ってしまいます。これで、発表された段階で、中途半端にアウトラインが示されていくようなことになると、信頼は取戻せないようなことにもなりかねないと危惧します。

私が気がかりなのは、今後の取組みです。これまでの検討委員会とは比べものにならないほど多くの協議・決定事項が待ちかまえています。○校名○校章○校歌○学校のルール○組織○制服○学習のルール○各校の文化の継承○通学の方法○通学区域 等、思いつくものだけでも数多くの課題があるのです。その協議はどのような場でどのような組織で行われていくのでしょうか。

【質問②】その準備委員会に係る費用は当初予算の上には計上されていませんが、今後の計画はどのようなになっているのか。

⇒施設形態、開校までのスケジュール等について協議されている。答申がなされてから、スケジュールを示していきたい。

私は、4校統合後の咸新小学校、赤崎小学校、北小学校の校舎の活用の仕方は、とても重要だと考えます。特に、北小学校校舎の活用は、これからのまちづくりに大変重要な要素です。

【質問③】現在在校している児童・生徒や卒業生、地域の皆さんへの配慮を前提としてと前置きした上での質問でした。一貫校設立後の3つの小学校の校舎を生かしていくためにも、早急に活用方法も探っていく必要があります。その点での方向性とスケジュール感をお聞きしたい。

⇒当然、それぞれの体育館については、学校教育以外にも役割を担っている。答申をいただき、公共施設等総合管理計画等も踏まえ、検討していく。

私なりに、北小学校校舎の活用を考えると、

- ・男女共同参画センターとして活用も可能です。
- ・その体育館は日中も使用可能な貴重な場となる可能性があります。
- ・気比神宮と接していることを活用すれば「おくのほそみちの風景地の関連施設」や遊歩道の設置も考えられます。
- ・駅と港をつなぐレンタサイクル等のキーステーション、
- ・お土産も販売できる「街の駅的」なものにも活用ができます。
- ・隣の北公民館や北幼稚園との統合を視野に入れると、さらにわくわくするいろいろなバリエーションが考えられます。

忘れてならないのは、現在在籍している子どもたちはもちろんのこと、卒業生や地域の方の母校への思いを温かく抱え込みながら、前向きな検討を進めていくことなのだと思います。

○最後に、現在の小学校・中学校の保護者に対して、角鹿中学校のハード面で平成30年時点での校舎の安全の説明があったことは、評価しています。ただ、何度もお話していますように、当事者となるのは、現在の就学前の幼児であり、その保護者です。また、それを受け入れていくそれぞれの地域に対する説明責任は、いまだに果たされていません。

【質問④】これまでもお願いしてきたように、今後すべての機会を通して、安全性と新しい一貫校のハード・ソフト両面からのこれからの姿を説明していく、丁寧な取り組みをお願いした上で、市長、教育長に今後の方向性を伺いました。

⇒今までにも小中一貫教育の充実に向けて、歩みを進めている。

保護者・地域の皆さんに対しては、校長よりオープンスクール等を通し、今後についても対応していく丁寧な説明を行っている。今後についても、対応していく。

との言葉でした。

大野市は今、統合問題で揺れています。その姿から学ぶものは大きいものがあります。どんなに正しく・素晴らしいと思われることでも、丁寧に対応していかなければ形にしていくことができないことを教えてくれているのだと思います。